

Funehiki High School News vol.120

◆祝！「船高便り」10周年

田村市の皆さん、毎月「船高便り」をご覧くださいありがとうございます。「船高便り」も、この号で10周年を迎えました。10年もの間、「たむら市政だより」の紙面を提供していただけたのも、「船高便り」を通して、地域の皆様に本校の教育活動を理解いただき、応援いただいているからこそだと思います。

これからも、地域をリードする人材の育成を目指し、地域になくてはならない高校として、教育活動を展開していきます。

今後も、「船高便り」の内容を充実させ、船高生の頑張りをお伝えしますので、引き続きご覧のうえ、生徒たちを応援くださいますようお願い申し上げます。

船引高等学校 校長 伊豆幸男



◆「TAMU LOVE PROJECT 2017」

本校では、田村市復興応援隊と地域の方々の協力のもと、1年生と2年生を対象に「TAMU LOVE PROJECT 2017」に取り組んでいます。これは、田村市の名所や文化、地域で活躍している人たちを知り、田村市をより深く理解する総合学習です。授業では、市内で頑張っている「カッコイイ」大人の皆さんから、4回にわたって講演いただきました。宇宙からの贈り物である隕石に触れたり、絵本の魅力を広める工夫をされている方に「できない理由を考える頭脳があるなら、できる理由を考える！」と熱いメッセージをいただいたり、畜産を営む方から「命をいただくことへの感謝の気持ち」を教わったり、東京から移り住んだ方から「素晴らしい自然、美味しい空気や水、美味しい食べ物など、都会にないものがいっぱいある。」と、この地域の素晴らしさに改めて気づかされたりして、講演いただいた皆さんからの熱い思いは、しっかりと生徒に伝わりました。

地域を創っていく船高生の可能性にご期待ください。



▲命の大切さについて熱心に話を聞く生徒たち



▲「この挿絵にセリフをつけるなら？」講師からの課題に取り組みました

◆船高生とドローンの可能性

6月10日、市役所の多目的ホールで「ドローン特別講座 成果発表会ならびに平成29年度ドローン特別講座開講式」が行われました。

本田市長のあいさつ、慶應義塾大学の先生による講演の後、昨年度の特別講座を受講した生徒たちが成果発表を行いました。一般の方々の前で、空撮班は撮影した動画を放映。地域課題解決班は「サーモドローンの利用」「水質調査・生態系調査への応用」をプレゼン。生徒の作品は、本校ホームページ（下記URL）校長ブログでご覧いただけます。

特別講座開講式では、同大学の南先生から今年度の課題が提示されました。空撮班は、田村市で開催されるイベントの撮影とCM大賞への応募。地域課題解決班は、地域の方々からいただく課題への対応。レース班は、佐野日大高校との練習試合の実施です。地域の皆様、ドローンの実用性の広がりを経験する船高生の活躍を、ぜひ応援してください。



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...http://www.funehiki-h.fks.ed.jp mail...funehiki-h@fcs.ed.jp

田村に住んで



Criutina Garcia
クリスティーナ・ガルシアさん
(アメリカ合衆国
テキサス州出身)
田村市に来て2年目



7月6日 船引小学校

初めて田村に来た時の気持ちは、今でも覚えていますよ。すべてが新鮮で、心が高まりました。できるだけ多くのものを見て探究しようという心を決め、その機会が待ちきれないほどでした。それに、知り合った誰もが、とても親切で好意的でした。

語を教えるのが大好きです。コミュニケーションをとるために、たくさんジェスチャーを使いますが、子どもたちの反応はとてもかわいらしく、楽しく、おもしろいですよ。

私は幼稚園の子どもたちに英

最近のお気に入り、さわやかな朝の時間帯に、歩いて仕事に行くこと。途中の木々の美しさに見とれていると、家族と話したり笑ったりしている子どもたちに出会います。私が笑顔で皆さんにあいさつすると、皆さんもあいさつを返してくれます。そんな時、私はこの田村に住んで、子どもたちの生活の一部、この地域の一人になるよう、神様が決めてくださったと感じています。

海を越えて 英語指導助手ペンリレー No. 50 特別編

「海を越えて」50回目到達を記念して、英語指導助手の方に、田村市に来て感じていることや田村市の印象、子どもたちに英語を教えていることなどを伺いました。特別編として、数回に分けて掲載します。

田村の第一印象

僕が約2年前に初めて田村市に来た時、なんとなく故郷に帰ったように感じました。田村に来る前は韓国の大都市に住んでいたのですが、アメリカの故郷は船引よりも小さいので、穏やかな地方の生活様式に戻ることが、僕にはとても自然に感じられたのです。滝根の「入水鍾乳洞」、田村からさほど遠くない「磐梯山」や「滝桜」など、美しく興味深い場所があることもうれしい驚きでしたね。



Colin Dunn
コリン・ダンさん
(アメリカ合衆国
ニューハンプシャー州出身)
田村市に来て3年目

でも、日本の人々はいつも親切でした。職場でも職場以外でも、とても温かく友好的で、快く僕を受け入れてくれました。田村に来たばかりの時期、僕が間違ったことをしたり、何が起きているのか分からなかったりした時は、いつも周りの人は僕を理解してくれました。そして彼らは、その状況に合った行動を学ぼうとしている僕を助けてくれたのです。



7月5日 常葉小学校